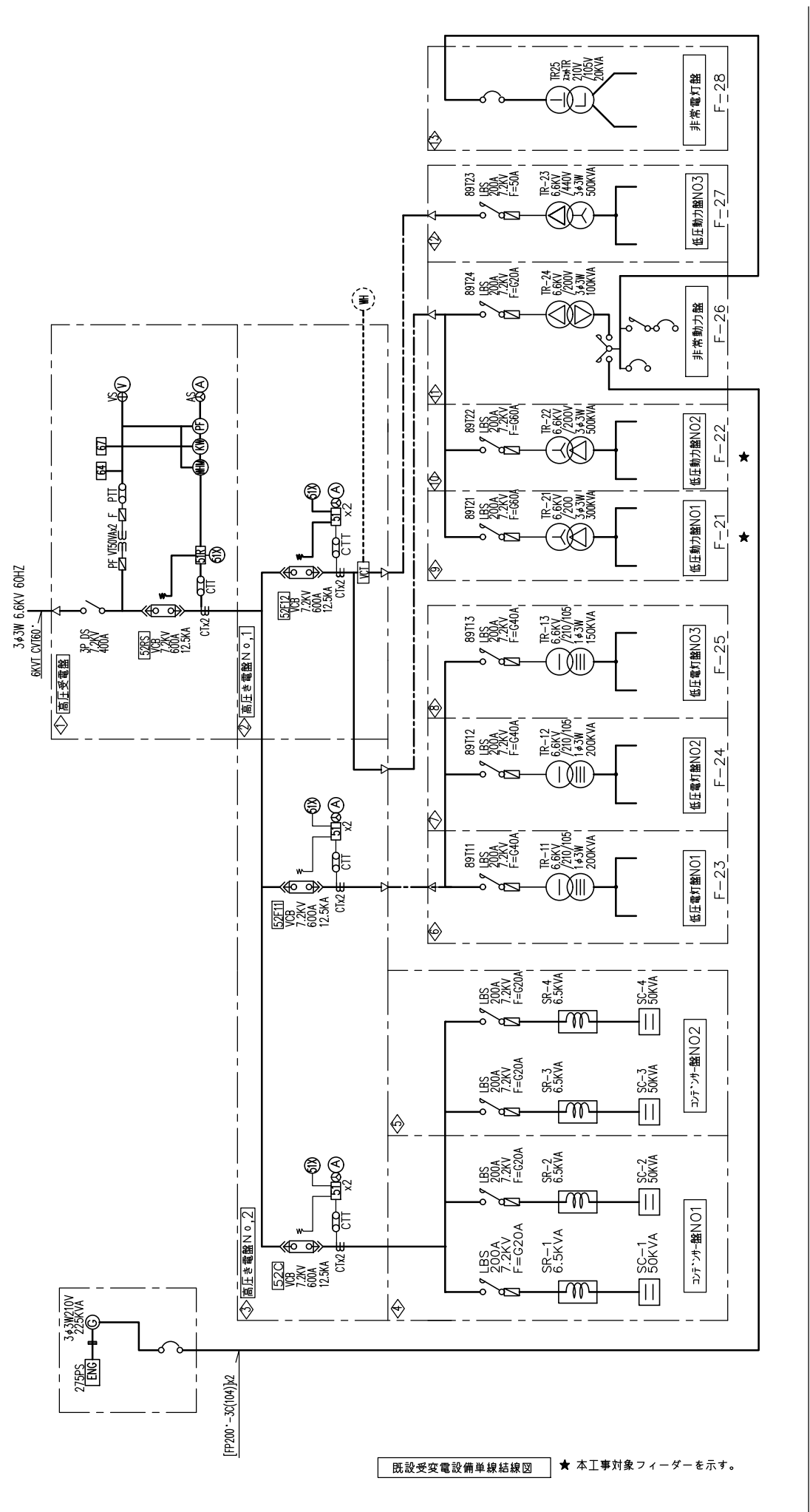
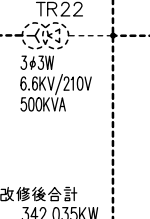


長野県立歴史館	訂正	・	KUMESKKI 株式会社 久米設計	日付	2026.03				件名	長野県立歴史館企画展示室空調設備改修工事	プロジェクト番号	7240397		
		・		PA	桐 賢史	疎開町野陽一郎								
		・		担当	下田 健也・貞永 信明									
		・												
		・												
									図面名称	電気設備特記仕様書	縮尺	A1版 --- A3版 ---	図面番号	ES-01



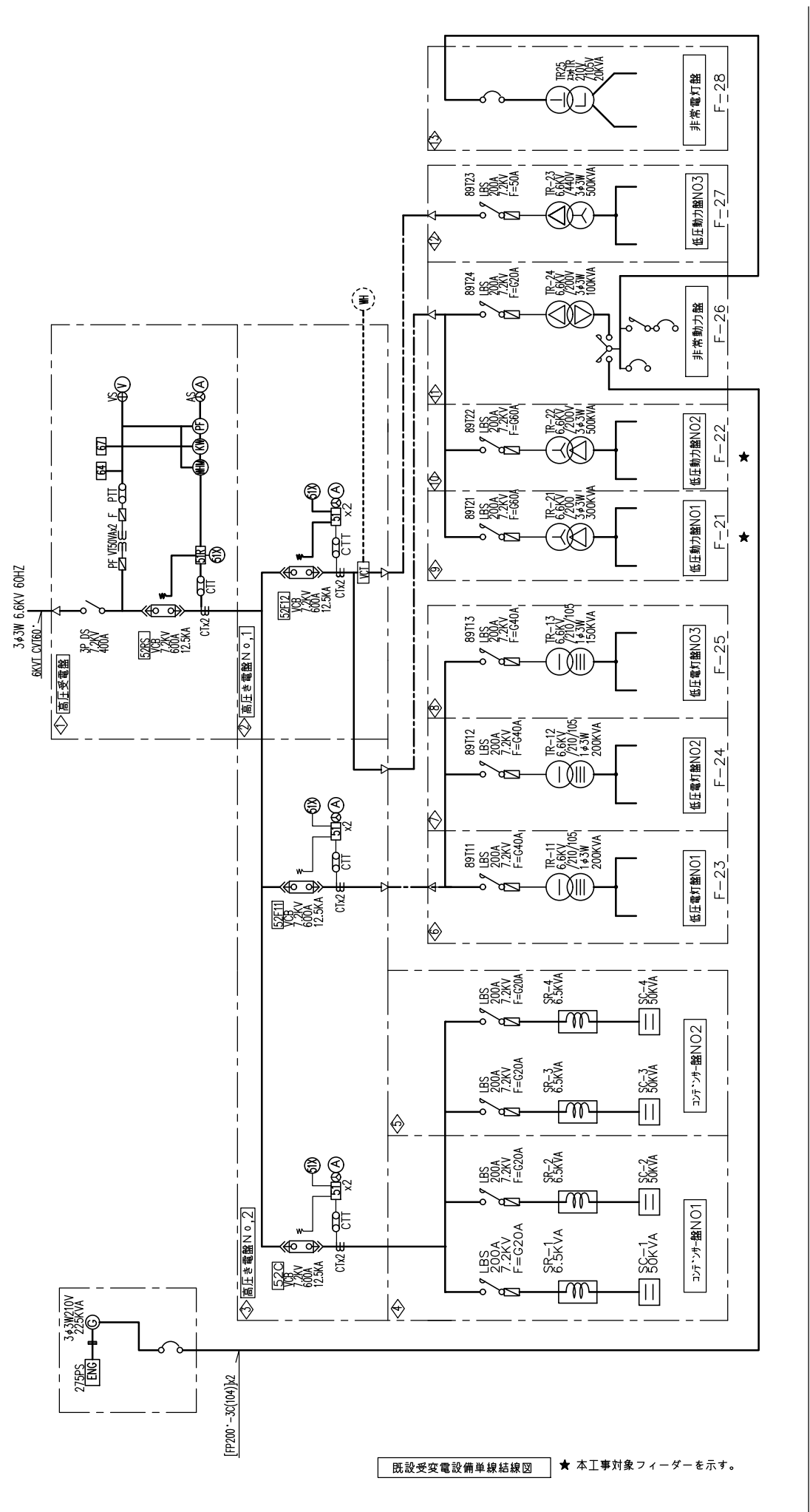
フィーダーNO	高圧開閉器	変圧器	盤名称	開閉器容量	幹線NO	負荷名称	幹線サイズ	動力制御盤主開閉器	分岐開閉器	幹線NO	名称	容量(KW)	備考	配線	配管
F-27		TR23 343W 6.6KV/440V 500KVA	<12> 低圧動力盤 NO.3	ELB3P 600/600A	F27-1		CVT 150" x2	リフト起動盤 ELB3P 600/600A			R-1 室内機	215.0	機器更新	CVT150" 幹ED38"	(E75) x2
				ELB3P 225/125A	F27-2		CVT 38"	空気熱交換器制御盤 ELB3P 150/125A			R-1 室外機	36.5	機器更新	EM-CET38" 幹ED14"	(G54)
				ELB3P 225/175A	F27-3		CVT100"	(幹線ケーブルは予備として残置)			R-2		機器撤去	CVT100" 幹ED14"	
				ELB3P 100/100A							予備				
				ELB3P 400/250A	F27-4		CVT 150"	1P-3 ELB3P 400/250A	ELB3P 50AF	P-1-1	冷温水1次ポンプNO.1	11.0			
									ELB3P 50AF	P-1-2	冷温水1次ポンプNO.1	11.0			
									ELB3P 50AF		予備				
									ELB3P 50AF		予備				
				ELB3P 100/100A		ヨビ			ELB3P 225AF	EB-1	電気ボイラー	60.0			
				ELB3P 100/100A		ヨビ			ELB3P 50AF	P-7	温水ポンプ	0.75			
										計		334.25			

フィーダーNO	高圧開閉器	変圧器	盤名称	開閉器容量	幹線NO	負荷名称	幹線サイズ	動力制御盤主開閉器	分岐開閉器	記 号	名 称	容量(KW)	備 考	配 線	配管
★ F-21		TR21 3φ3W 6.6KV/210V 300KVA 改修後合計 269.65KW	<9> 低圧動力盤 NO.1	MCB3P 225AF/225A	F21-1	1P-1		1P-1			MCB3P 225AF AHU-6	40.7			
				MCB3P 225AF/225A	F21-2	1P-1		1P-1			MCB3P 50AF AHU-6	22.8			
											MCB3P 50AF EF-53	10.0			
											ビット用圧扇	1.5			
											MCB3P 50AF OF-4	1.5			
											送風機	1.5			
											MCB3P 50AF EF-13	1.5			
											排風機				
											MCB3P 50AF				
											予備				
											MCB3P 50AF				
											予備				
											小計	37.3			
											既設負荷	30.0			

フィーダーNO	高圧開閉器	変圧器	盤名称	開閉器容量	幹線NO	負荷名称	幹線サイズ	動力制御盤主開閉器	分岐開閉器	記号	名称	容量(KW)	備考	配線	配管				
★ F-22		TR22	<10> 低圧動力盤 NO.2	MCB3P 225AF/200AT	F22-1	1P-2	CVT 100"	1P-2	M:ELB3P 225AF/200AT	MCB3P 50AF RF-4	環風機	0.3		CV3.5"-3C E1.6	(E25)				
											MCB3P 50AF OHU-2	ユニット形空調 外調機	0.75						
											ELB3P 50AF OHU-2	" 加湿器	11.4						
											MCB3P 50AF OF-6	送風機	0.3						
											MCB3P 50AF EF-10	排風機	0.3						
											MCB3P 50AF EF-15	排風機	0.15						
											ELB3P 50AF DEH-1	除湿器	4.5						
											ELB3P 100AF 75AT 増設	ACP-4	空冷ヒートポンプ式ハッチャー (中間ファン)	12.94		EM-CET 14"E5.5"	(E39)	運転電流 41.8A	
												計	30.64						
												MCB3P 50AF AHU-7	ユニット形空調機ファン	5.5		配線撤去			
												ELB3P 50AF "	ユニット形空調機加湿器	6.0		配線撤去			
												MCB3P 50AF AHU-7	ユニット形空調機ファン	5.5		配線撤去			
												MCB3P 30AF RF-6	環風機	1.6		CV3.5"-3C E1.6	(E25)		
												MCB2P 30AF	制御用						
												MCB2P 50AF	計装用						
												MCB3P 50AF	シャッター	0.2					
												MCB3P 50AF CP-3	ドレンヒーター制御盤	4.24					
												MCB3P 50AF	ナウマンソウ電源	0.75					
												MCB3P 50AF	全熱交換機	0.1					
												ELB3P 225AF 150AT 増設	ACP-8	空冷ヒートポンプ式ハッチャー	28.48		EM-CET 38"E8"	(E51)	運転電流 82.1A
													計	52.37					
																1.8			
																11.4			
																6.0			
																75.55			
																32.45			
																44.0			
												18.5							
												11.0							
												37.545							
												20.78							
											計	342.035							

改修内容
・既設AHU-7の更新に伴い、動力制御盤2P-1の二次配線を撤去する。
・二次配線撤去後、2P-1の分岐回路はヨビ回路の表示とする。
・キュービクル内の温度について、サーモ及びファンの状態を確認すること。

・・・改修・増設部位を示す。



フィーダーNO	高圧開閉器	変圧器	盤名称	開閉器容量	幹線NO	負荷名称	幹線サイズ	動力制御盤主開閉器	分岐開閉器	幹線NO	名称	容量(KW)	備考	配線	配管
F-27		TR23 34.3W 6.6KV/440V 500KVA	<12> 低圧動力盤 NO.3	ELB3P 600/600A	F27-1		CVT 150"×2	リフト起動盤 ELB3P 600/600A			R-1 室内機	215.0	機器更新	CVT150"幹ED38"	(E75)×2
				ELB3P 225/125A	F27-2		CVT 38"	空気熱交換器制御盤 ELB3P 150/125A			R-1 室外機	36.5	機器更新	EM-CET38"幹ED14"	(G54)
				ELB3P 225/175A	F27-3		CVT100"	(幹線ケーブルは予備として残置)			R-2		機器撤去	CVT100"幹ED14"	
				ELB3P 100/100A							予備				
				ELB3P 400/250A	F27-4		CVT 150"	1P-3 ELB3P 400/250A	ELB3P 50AF	P-1-1	冷温水1次ポンプ*NO.1	11.0			
									ELB3P 50AF	P-1-2	冷温水1次ポンプ*NO.1	11.0			
									ELB3P 50AF		予備				
									ELB3P 50AF		予備				
									ELB3P 225AF	EB-1	電気ボイラー	60.0			
				ELB3P 100/100A		ヨビ			ELB3P 50AF	P-7	温水ポンプ	0.75			
				ELB3P 100/100A		ヨビ									
											計	334.25			

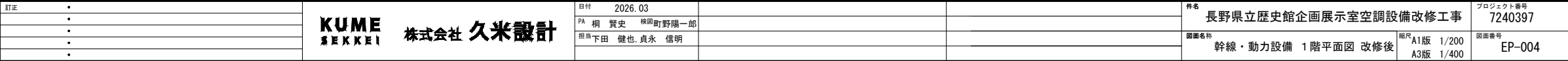
フィーダーNO	高圧開閉器	変圧器	盤名称	開閉器容量	幹線NO	負荷名称	幹線サイズ	動力制御盤主開閉器	分岐開閉器	記号	名称	容量(KW)	備考	配線	配管
F-21	★	TR21 34.3W 6.6KV/210V 300KVA 改修後合計 329.95KW	<9> 低圧動力盤 NO.1	MCB3P 225AF/225A	F21-1	1P-1		1P-1			MCB3P 225AF AHU-6	40.7			
				MCB3P 225AF/225A	F21-2	1P-1		1P-1			MCB3P 50AF AHU-6	22.8			
											空調機用電気ヒーター	10.0			
											MCB3P 50AF EF-5.3	1.5			
											送風機	1.5			
											MCB3P 50AF OF-4	1.5			
											排風機	1.5			
											予備				
											MCB3P 50AF				
											予備				
				MCB3P 225AF/225AT	F21-3	1P-3	CVT 150"	1P-3	M:ELB3P 225AF/225AT		小計	37.3			
											既設負荷	30.0			
				ELB3P 100AF	ACP-1						空冷ヒートポンプ*式*ヒーター	10.89		EM-CET 14"E5.5"	(E39)運転電流 35.3A
				75AT増設	SF-1						(中間ファン)				
											小計	40.89			
				MCB3P 400AF/350A	F21-4	1P-3	CVT 200"	1P-3	M:MCB3P400AF/350A		循環ポンプ* (床暖房)	0.4			
											環境風機	0.3		CV3.5"-3C E1.6	(E25)
											環境風機	4.04		CV3.5"-3C E1.6	(E25)
											環境風機	4		CV3.5"-3C E1.6	(E25)
				ELB3P 225AF	ACP-2						空冷ヒートポンプ*式*ヒーター	45.81	機器更新	EM-CET 60"E14"	(E63)運転電流 139.5A
				200AT増設											
				ELB3P 225AF	ACP-3						空冷ヒートポンプ*式*ヒーター	45.81	機器更新	EM-CET 60"E14"	(E63)運転電流 139.5A
				200AT増設											
											小計	96.36			
												4.95			
												5.0			
												40.45			
				MCB3P 100AF/ 60A	F21-5	1P-4		1P-4							
				MCB3P 50AF/ 30A	F21-6	蓄電池		蓄電池							
				MCB3P 225AF/225A	F21-7	1P-3	CVT 200"	1P-3							
				MCB3P 250AF/250A	F21-8	ACP-1~4									
				MCB3P 225AF/175A	F21-9	2P-1-1	EM-CET1150"	2P-1-1				41.0			
				MCB3P 225AF/150A	F21-10	AHP-1制御盤	EM-CET1100"				ヒートポンプヒーター	23.3			
											計	329.95			

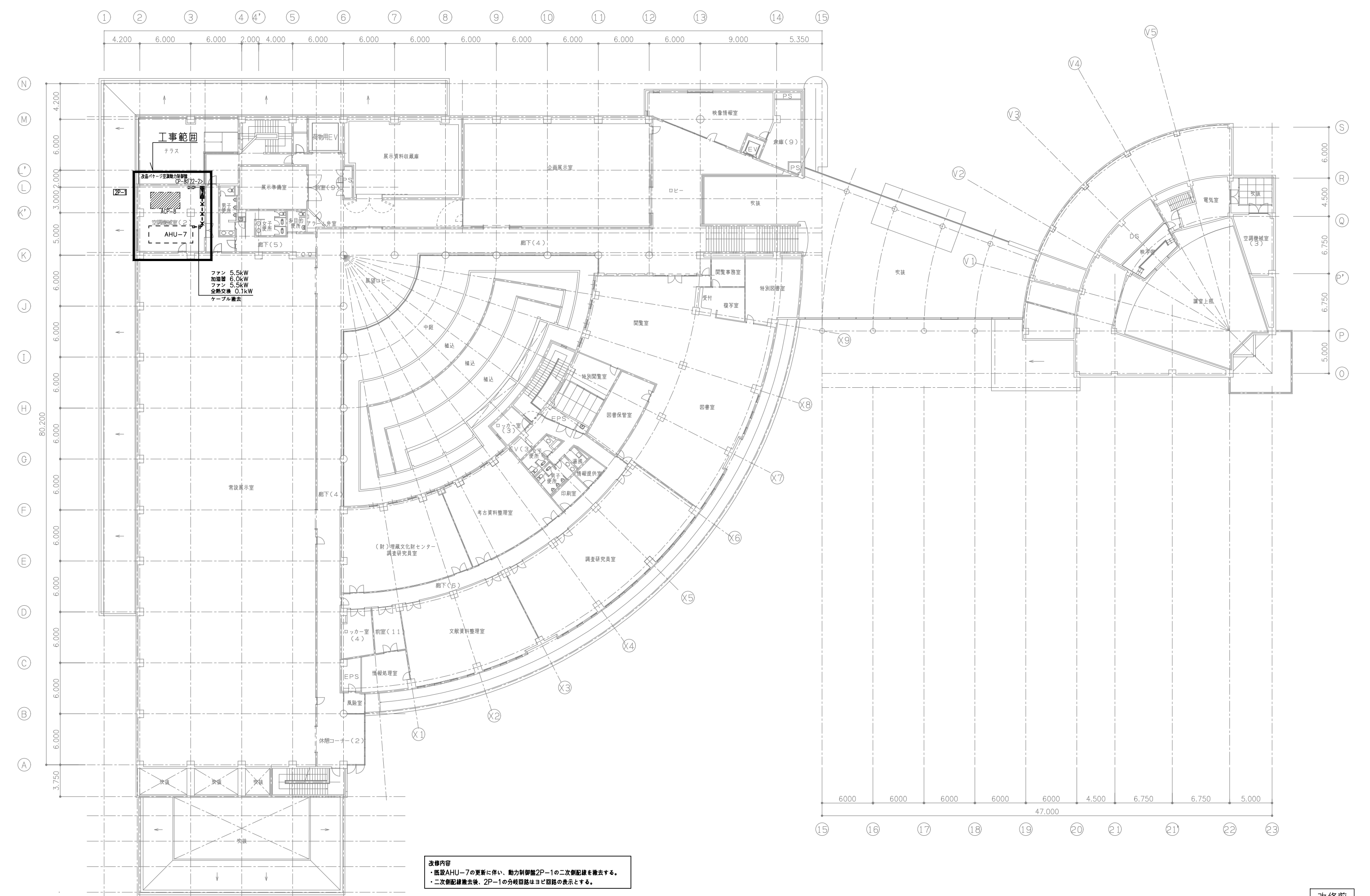
フィーダーNO	高圧開閉器	変圧器	盤名称	開閉器容量	幹線NO	負荷名称	幹線サイズ	動力制御盤主開閉器	分岐開閉器	記号	名称	容量(KW)	備考	配線	配管
F-22	★	TR22 34.3W 6.6KV/210V 500KVA 改修後合計 325.035KW	<10> 低圧動力盤 NO.2	MCB3P 225AF/200AT	F22-1	1P-2	CVT 100"	1P-2	M:ELB3P 225AF/200AT		MCB3P 50AF RF-4	0.3		CV3.5"-3C E1.6	(E25)
											環境風機	0.75			
											MCB3P 50AF OHU-2	11.4			
											MCB3P 50AF OHU-2	11.4			
											MCB3P 50AF OF-6	0.3			
											MCB3P 50AF EF-10	0.3			
											MCB3P 50AF EF-15	0.15			
											ELB3P 50AF DEH-1	4.5			
											ELB3P 100AF ACP-4	12.94		EM-CET 14"E5.5"	(E39)運転電流 41.8A
											75AT増設	30.64			
				MCB3P 225AF/225AT	F22-2	2P-1	CVT 150"	2P-1	M:ELB3P 225AF/225AT		MCB3P 50AF				
											ヨビ				
											ヨビ				
											ヨビ				
											環境風機	1.6		CV3.5"-3C E1.6	(E25)
											制御用				
											計装用				
											シャッター	0.2			
											MCB3P 50AF CP-3	4.24			
											ドレンヒーター制御盤	0.75			
											ナウマンゾウ電源	0.1			
											全熱交換機	28.48		EM-CET 38"E8"	(E51)運転電流 82.1A
				ELB3P 225AF							空冷ヒートポンプ*式*ヒーター				
				150AT増設											
											計	35.37			
												1.8			
				MCB3P 100/ 75A	F22-3	2LP-2/2P-2		2LP-2/2P-2				11.4			
				MCB3P 225/125A	F22-4	1LP-1		1LP-1				6.0			
				MCB3P 100/ 50A	F22-5	1LP-4		1LP-4				75.55			
				MCB3P 400/350A	F22-6	1LP-5		1LP-5				32.45			
				MCB3P 225/200A	F22-7	1LP-6		1LP-6				44.0			
				MCB3P 400/300A	F22-8	EV-1		EV-1				18.5			
				MCB3P 225/150A	F22-9	EV-2		EV-2				11.0			
				MCB3P 100/100A	F22-10	EV-3		EV-3				37.545			
				MCB3P 225/150A	F22-11	融雪ヒーター		融雪ヒーター				20.78			
				MCB3P 100/ 75A	F22-12	融雪ヒーター		融雪ヒーター							
				MCB3P 100/ 100A		ヨビ									
				MCB3P 100/ 100A		ヨビ									
											計	325.035			

改修内容
・AHP-1、AHU-7の新設に伴い、低圧動力配電盤No1のヨビ回路を100AFから225AFへ変更し電源供給を行う。
・AHP-1は機側盤へ電源供給し、AHU-7は動力制御盤2P-1-1を新設し電源供給を行う。
・キュービクル内のサーモ及びファンを更新すること。

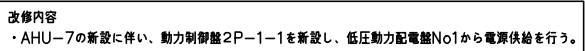
・・・改修・増設部位を示す。

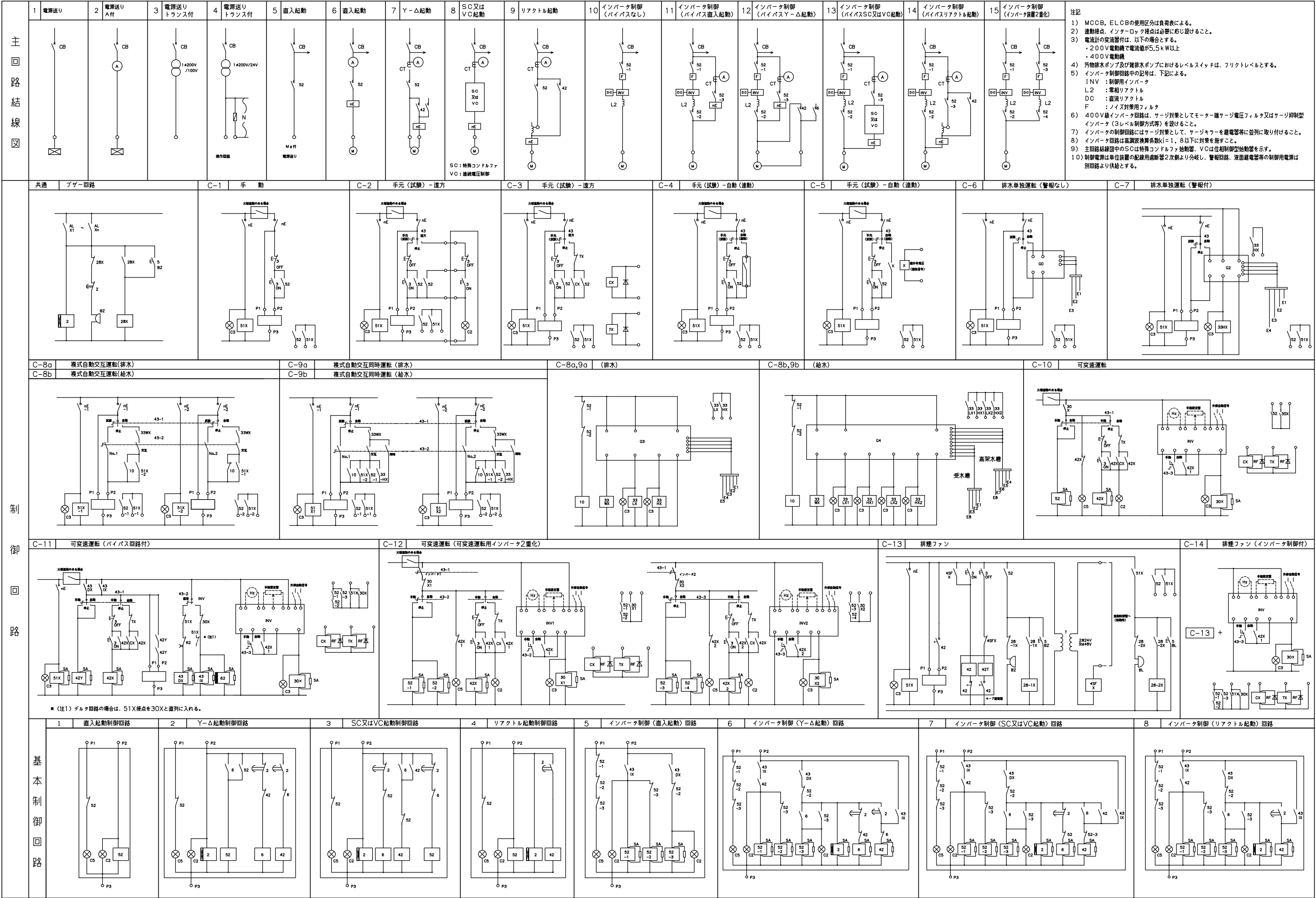






改修内容
・既設AHU-7の更新に伴い、動力制御盤2P-1の二次側配線を撤去する。
・二次側配線撤去後、2P-1の分岐回路はヨビ回路の表示とする。





[illegible][illegible]

長野県立歴史館企画展示室空調設備

改修工事

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

千曲市屋代

2. 敷地面積 (㎡)

10,457㎡

3. 工事種目

改修工事

建物別	種別	構造	階数	梁間 (m)	桁行 (m)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
歴史館	改修	SRC	2			6,702	10,457

4. 工事内容

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目	改修工事			
2 仮設工事	○			
3 防水改修工事				
4 外壁改修工事 コンクリート打ち出し仕上げ外壁				
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁				
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁				
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁				
5 建具改修工事				
6 内装改修工事				
7 塗装改修工事	○			
8 耐震改修工事				
9 環境配慮改修工事				

II. 管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
株式会社久米設計一般建築士事務所	桐 賢史

主任担当技術者	担当技術者
意匠担当	
株式会社久米設計一般建築士事務所 岩崎 力	
構造担当	
積算担当	
株式会社久米設計一般建築士事務所 岩崎 力	
意匠担当	
意匠担当	

III. 建築改修工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○をつけたものを適用する。
○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下「改修標準仕様書」という。）
○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下、「標準仕様書」という。）
○建築工事標準詳細図（最新版）（以下「標準詳細図」という。）
○建築物解体工事共通仕様書（最新版）
○敷地調査共通仕様書（最新版）
○建築構造設計基準（最新版）
○工事写真の撮り方 建築編（最新版）
○公共建築木造工事標準仕様書（最新版）
○建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）
○長野県建設リサイクル推進指針

国土交通省大臣官房技術調査課・土地・建設産業局建設業課
長野県建設部

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図による。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
・ 印のみの場合は適用しない。
3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5) ⊕ 印は、「図等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章 項 目 特 記 事 項

1 各章共通事項

1. 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○ 風圧力
風速 (V0= 30 m/s)
地表面粗度区分 (Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ)
・ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (26)

2. 工事実績情報の登録

※ 適用する ・ 適用しない [1.1.4]

3. 電気保安技術者

※ 適用する ・ 適用しない [1.3.3]

4. 施工条件明示事項

・「現場説明事項・施工条件明示事項」による [1.3.5]

5. 環境への配慮

(1.4.1) [1.4.1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、
・ 塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジオーブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

6. 材料の品質等

(1.4.2) [1.4.2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型持用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリースアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トッブライト、ポリマーセメントモルタル、鋼鉄製ふた

7. 石綿含有建材の調査

[1.5.1]

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料 ()
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 JIS A 1481-3)、(JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
・ (箇所)	・ (箇所)	・ (箇所)
・ (箇所)	・ (箇所)	・ (箇所)
・ (箇所)	・ (箇所)	・ (箇所)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・ 図示による ・

8. 施工数量調査

調査範囲及び調査方法 ※ 図示 ・ [1.6.2]
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 図示 ・ [1.6.3]

9. 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

10. 技能士

※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。） [1.7.2]
・ 適用しない
適用工事種目 技能検定作業
防水改修工事 ・757防水工事作業 ・757系塗膜防水工事作業
・757系塗膜防水工事作業 ・合成757系シート防水工事作業
・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セパ系防水工事作業
・シーリング 防水工事作業 ・改質757シート工法防水工事作業
・FRP防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業
外壁改修工事 ・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業
建具改修工事 ・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事 ・ガラス系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業
○ボード仕上げ工事作業 ○鋼製下地工事作業
・壁紙作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業
塗装改修工事 ○建築塗装作業
耐震改修工事 ・鉄骨組立作業 ・型枠施工作業 ・とび作業
コンクリートポンプ工事作業 ・コンクリートポンプ工事作業
・エーサーポンプ工事作業
石工事 ・石張り作業
植栽工事 ・造園工事作業

11. 化学物質の濃度測定

(1.5.9) [1.7.9]
測定方法 ・ パッシブ法（拡散法） ・ アクティブ法（吸引法）
検査機関
※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者
測定物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン
※ パラジクロロベンゼン ※ スチレン
測定箇所（室）
計 箇所
※ 試料採取にあたっては、監督員又は監督員が指定する者が立会いの下に行う。
化学物質の室内汚染濃度指針値
ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン パラジクロロベンゼン スチレン 備考
0.08ppm 0.07ppm 0.20ppm 0.88ppm 0.04ppm 0.05ppm
12. 埋設配管・配線および鉄筋調査
あと施工アンカー工事
6章および8章による
コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
・探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管 ・配線等の位置の墨出しを行う
範囲
※図示による
○放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数 5 枚
フィルムサイズ：デジタル検出器による。
コンクリート厚さ 15 cm
13. 完成図等
※ 作図する (1.7.1～1.7.3) (表1.7.1)
※ 完成図 (※ 設計図書で示したもの全て ・ 標仕様1.7.2)による
・ 監督員の指示による)
作成方法 ・ 原図 用紙 (・ トレーシングペーパーA1 ・)
作図方法 (※ CADで作成し出力 ・)
※ 製本 (原図の白焼き、見開きA1版 (1部))
※ CADデータ (※ CD-R (2部) ・)
※ 保全に関する資料 (2部)
下記のを監督職員へ提出する。原版は撮影業者の保管とする。
撮影部位及び箇所数 分類・規格 提出部数 画素数及び画質等 撮影者
外観正面 : ()箇所 ・ 電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度) 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの 建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
上記と異なる外部 : ()箇所 ・ カラー印刷紙キャビネ版アルバム綴じ ※ 2部
内部: ()箇所
外部: ()箇所、内部: ()箇所 電子データ (CD-R) (JPEGフルカラー) ※ 2部
程度 1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質
アルバムは、黒表紙金文字入り、サイズはH20×D300程度とする。
14. 完成写真

2 仮設工事

1. 騒音・粉じん等の対策

・ 防音パネル
・ 防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・ 図示による [2.1.3]

2. 足場等

[2.2.1] [表 2.2.1]
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
○設置する
(設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・ 図示による ・)
・ 設置しない
防護シート
・ 設置する
(設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ 図示による ・)
・ 設置しない

3. 既存部分の養生

養生方法等 [2.3.1]
○既存部分
養生方法 (※ビニルシート、合板等 ・ 合板+防災シート)
○既存家具、既存設備等
養生方法 (※ビニルシート等 ・)
・ 既存ブラインド、カーテン等
養生方法 (・ビニルシート等 ・)
保管場所 (・ 図示による ・)
・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動
・ 図示による ※工事に支障となる範囲
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

4. 仮設間仕切り

[2.3.2] [表 2.3.1]
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所
・ 図示による ・ 既存防火扉利用 ・
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ (厚さmm)	塗装	充填材
・ A種	・ セツこうボード 種類 (・) 厚さ (・ mm ※9.5mm) ・ 合板 材種 (・) 厚さ (・ mm ※9mm) ・	・ 無し ・ 片面 ・	グラスウール 32k ※厚さ 50mm以上 ・
・ B種			
※C種	防災シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	グラスウール貼り
※木製 ・	※合板張り程度 ・	・ 無し ・ 片面 ・ 図示による	・ かつ所 ・ 図示による	・ 有り ・ 無し

グラスウール貼り ※グラスウール32k (厚50mm以上)

5. 監督員事務所

・ 設ける ※ 設けない
規模 ※ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ () ㎡程度 [2.4.1]

6. 工事用水

構内既存の施設 ○ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない [2.4.1]

7. 工事用電力

構内既存の施設 ○ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない [2.4.1]

3 防水改修工事

1. 施工数量調査

調査範囲
・ 図示による ・
調査方法
・ 図示による ・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 図示による ・
調査報告書 (提出部数 ・ 2部 ・) [1.6.2] [表 1.6.2]

2. 降雨等に対する養生方法 (とい共)

※改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による [3.1.3]

3. 既存防水の処理

既存保護層の撤去
・ 行う (範囲 ・ 図示による ・) ・ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う (範囲 ・ 図示による ・) ・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う (・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4DI ・ L4X) ・ 行わない [3.1.4] [3.2.3、4、6]

4. 既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・ 図示による ・
POS工法及びPOS工法（機械的固定方式）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4) (7) ①～③による
・
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員との協議による ・ 図示による [3.2.6]

5. アスファルト防水

屋根保護防水 (既存) 新設防水層の種別 [3.3.2～5]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 [A]	絶縁用シート
・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はワットヤンクス 70g/㎡程度 ・
・ P1B	・ B-1 ・ B-2			
	・ A-I-1 ・ A-I-2 ・ A-I-3	(種類)	※JIS A 9521に基づく押出法製リフレフォーム断熱材3種0A (25層付き) (厚さ) (mm)	※ワットヤンクス 70g/㎡程度 ・
・ P1B I	・ B-I-1 ・ B-I-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9)による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上

長野県立歴史館

株式会社 久米設計

訂正

・

・

・

・

・

日付

2026.03

PA 桐 賢史 横田 山田 大祐

担当 藤木 真二郎、阿部 功

本田 冬生

件名

長野県立歴史館企画展示室空調設備改修工事

プロジェクト番号

7240397

図面名

特記仕様書-1

縮尺

A1
A3

図面番号

AS-001

[illegible]

1. 既存モルタル塗りの撤去

2. ひび割れ部改修工法

3. 欠損部改修工法

4. 浮き部改修工法

・行う（※ 全面 ・ 図示の範囲）

・樹脂注入工法

注入状況の確認方法

※コアの抜き取りを行う

抜き取り箇所

※長さ500mmごと及びその端数につき1個

・

抜き取り部の補修方法

※図示による

・Uカットシーリング材充填工法

・シーリング材

充填材料の種類

※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

・

シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填

・行う ・行わない

シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

・充填工法

・エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法

・現場調査材料

（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）

・既調査材料（ ）

既製目地材

・使用する（形状 ・図示による ）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置

※図示による

工法の種類

アンカーピンの本数
(本/m)

注入口の箇所数
(箇所/m)

注入量
(mL/箇所)

一般部

指定部

一般部

指定部

・アンカーピンニング

部分エポキシ樹脂注入工法

・アンカーピンニング

全面エポキシ樹脂注入工法

・アンカーピンニング

全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・注入口付アンカーピンニング

部分エポキシ樹脂注入工法

・注入口付アンカーピンニング

全面エポキシ樹脂注入工法

・注入口付アンカーピンニング

全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・充填工法

・モルタル塗替え工法

※16

※25

※13

※20

※13

※20

※9

※16

※9

※16

※9

※16

—

—

—

—

—

—

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

アンカーピンの材質

※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものと

・

注入口付アンカーピンの材質

※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度

・

注入工法用材料

・ポリマーセメントスラリー

広がりの速度
(cm/s)

長さ変化量
(収縮)
(%)

引張接着性
(材齢28日)
(N/?)

曲げ性能
(材齢28日)
(N/?)

吸水性
(72時間)
(%)

耐久性
(劣化曲げ強さ)
(N/?)

3以上

3以下

0.5以上

5.0以上

15以下

5.0以上

保水係数 0.35～0.55

粘着係数 0.50～1.00

充填工法用材料

・エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法用材料

・現場調査材料

（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）

・既調査材料（ ）

既製目地材

・使用する（形状 ・図示による ）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置

※図示による

[4. 1. 4] [4. 3. 5、6、7、8]

[4. 1. 4] [4. 3. 9、10]

[4. 1. 4] [4. 3. 11～16]

1．既存タイル張りの撤去

・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲
撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ

2．タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等 [4. 4. 5、6]

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	I類II類III類IV類	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚濁性	備考
					有無	有無	標準特注	有無	有無	
		*	*	*	*	*	*	*	*	
		*	*	*	*	*	*	*	*	
		*	*	*	*	*	*	*	*	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・ 行う（施工箇所： ） ・ 行わない
試験張り
・ 行う（範囲、仕様等は図示による） ・ 行わない

3．ひび割れ部改修工法

改修箇所 ※ 既存タイル張り面 [4. 1. 4] [4. 4. 5、6]
・ 既存タイル撤去面（ コンクリート面 ・ モルタル面）

・ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※200～300 ＊	＊130 ＊
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	＊50～100 ＊	＊40 ＊
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	＊100～200 ＊	＊70 ＊
	0.5以上～1.0 未満	＊150～250 ＊	＊130 ＊

注入状況の確認方法
※コアの採取り ・ 行う ・ 行わない
抜き取り個数
※長さ500㎓ごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
・ 図示による ・

・ Uカットシール材充填工法（既存タイル張り撤去面）
・ シーリング材
充填材料 ※1 成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・
ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない
・ 可とう性エポキシ樹脂

4．欠損部改修工法

・ タイル部分強替え工法 [4. 1. 4] [4. 4. 5、7、8]
接着剤の種類
・ ポリマーセメントモルタル
・ 外壁タイル接着剤JIS A 5557)に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
・ タイル強替え工法
強替え用材料
・ 外壁タイル接着剤JIS A 5557)に基づく一液反応硬化形成シリコン樹脂系
・ 張付けモルタル （ ・ 現場調合材料 ・ 既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4. 2/4による
・ 図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・ 行う ・ 行わない
・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・ 目荒し工法（改修標準仕様書4. 3. 10(3)による）
・
・ タイル張りの工法
・ 外装タイル
・ 密着張り ・ 改良片着張り
・ ユニットタイル
・ マスク張り ・ モザイクタイル張り
シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。
・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・ 目荒し工法（改修標準仕様書4. 3. 10(3)による）
・
・ シーリング材の種類
折継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
・ 伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

5．浮き部改修工法

[4. 1. 4] [4. 4. 5、9～15] [4. 5. 9～15]

工法の種類	7カービンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (mL/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・ アンカービンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ＊	※25 ＊	—	—	※25 ＊
・ アンカービンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ＊	※20 ＊	※12 ＊	※20 ＊	※25 ＊
・ アンカービンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ＊	※20 ＊	※12 ＊	※20 ＊	※50 ＊
・ 注入口付アンカービンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ＊	※16 ＊	—	—	※25 ＊
・ 注入口付アンカービンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ＊	※16 ＊	※9 ＊	※16 ＊	※25 ＊
・ 注入口付アンカービンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ＊	※16 ＊	※9 ＊	※16 ＊	※50 ＊
・ 注入口付アンカービンニング エポキシ樹脂注入タイプ固定工法	＊	＊	—	—	※25 ＊
・ タイル部分張り替え工法	—	—	—	—	—
・ タイル張り替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピンの材質

※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm の丸棒で金ネジ切り加工したものと、

・

注入口付アンカーピンの材質

※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度

・

・ タイル部分張替え工法

接着剤の種類

・ ポリマーセメントモルタル

・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系

・ タイル張替え工法

張替え用材料

・ 接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系

・ 張付けモルタル (・現場調査材料 ・既調合モルタル)

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置

※改修標準仕様書表4.5.1による

・ 図示による

外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験

・ 行う ・行わない

・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り

下地モルタル塗りを行うコンクリート表地面の下地処理

・ 目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による)

・

タイル張りの工法

・ 外装タイル

・ 密着張り ・改良圧着張り

・ ユニットタイル

・ マスク張り ・モザイクタイル張り

シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・ 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り

下地調整塗材塗りを行うコンクリート表地面の下地処理

・ 目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による)

・

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地

※ポリウレタン系

伸縮調整目地その他の目地

※変成シリコーン系

・

シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

6. 目地改修工法

[4.1.4][4.4.5,16]

・ 目地ひび割れ部改修工法

・ 伸縮調整目地改修工法

伸縮調整目地の位置及び寸法

・ 図示による ・

シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

1. 所要量の確認

工程ごとの所要量の確認

※改修標準仕様書表4.5.3による

・

[4.5.3][表4.5.4]

2. 既存塗膜等の除去

下地処理及び下地調整

[4.5.4]

工 法	処理範囲	下地処理 (下地のひび割れ部等の修補)
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	
・ 高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa程度以上	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	・ ひび割れ部改修工法 ・ 浮き剥改修工法 ・ 欠損部改修工法
・ 塗膜はく離剥工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	
・ 水洗い工法	※ サンド工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剥工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示による	

3. 下地調整塗材

※下地調整塗材

・ ポリマーセメントモルタル

[4.5.2]

4. 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

新規仕上塗材の種類

・ 薄付け仕上塗材

[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

種類(呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・ 外装薄塗材 S	・	・ 砂壁状
・ 可とう形外装薄塗材 S	・	・ ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)
・ 外装薄塗材 E	・	・ さざ波状 ・ 平たん状
・ 可とう形外装薄塗材 E	・	・ 凹凸状(・吹付け・こて塗り)
・ 防水形外装薄塗材 E	・	・ 着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)
・ 外装薄塗材 S	・	・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく

・ 厚付け仕上塗材

種類(呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・ 外装厚塗材 C	・	・ 吹放し ・ 凸凹処理 ・ 平たん状
・ 外装厚塗材 S	・	・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし
・ 外装厚塗材 E	・	上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料	仕上げる形状及び工法等
・複層塗材 C E	・	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状
・ 可とう形複層塗材 C E	・	耐候性 ※ 耐候形 3 種
・ 複層塗材 S i	・	上塗材の種類
・ 複層塗材 E	・	溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系
・ 複層塗材 R E	・	樹脂 ※ アクリル系 ・
・ 防水形複層塗材 C E	・	外観 ※ つやあり ・ つやなし
・ 防水形複層塗材 E	・	・ メタリック
・ 防水形複層塗材 R E	・	

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料	仕上げる形状及び工法等
・可とう形改修塗材 E	・	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状
・可とう形改修塗材 R E	・	耐候性 ※ 耐候形 3 種
・可とう形改修塗材 C E	・	上塗材の種類
		溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系
		樹脂 ※ アクリル系 ・
		外観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック

5. マスチック塗材塗り

種別

[4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]

・A種 ・B種

6. 外壁用塗膜防水材塗り

仕上げる形状

[4.1.5] [4.7.2.3] [表4.7.1]

工法

・

仕上塗料の耐候性

・

下地準動継縫材の適用

・適用する

・適用しない

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち直し仕上外壁改修）による。

モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上外壁改修）による。

吹付け工法の模様材の種類

・（・所要量

(kg/㎡)

外壁用仕上塗料の種類

・（・所要量

(kg/㎡)

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上外壁等改修）による。

1. 改修工法

[5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具			・建具表による
・樹脂製建具			・建具表による
・鋼製建具	・外部		・建具表による
	・内部		・建具表による
・鋼製軽量建具			・建具表による
・ステンレス製建具			・建具表による
・木製建具			・建具表による

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方

※図示による

・

新規建具周囲の補修工法及び範囲

※図示による

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

2. 防火戸

[5.1.4]

・指定する 適用箇所（・建具表による

・

）

・指定しない

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

・連動させる 適用箇所（・建具表による

・

）

・連動させない

3. 見本の製作等

[5.1.5]

建具見本の製作

・行う（建具符号：

・

）

・行わない

建具見本製作の目的等：（

・

）

建具見本の程度

・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する

・納まり等が分かる程度のもの

特殊な建具の仮組

・行う（建具符号：

・

）

・行わない

4. 防犯建物部品

[5.1.7]

・適用する（・建具表による

・

）

・適用しない

5. アルミニウム製建具

[5.2.2～5] [表 5.2.2]

性能値等

耐風圧性の等級（・

・

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

気密性の等級（・

・

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

水密性の等級（・

・

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

外部に面する建具の種類

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・ A 種	S-4	A-3	W-4	・ 70	※ 図示による
・ B 種	S-5			・ 100	※ 図示による
・ C 種	S-6	A-4	W-5	・	※ 図示による

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（・

・

）

（建具符号：・建具表による

・

）

断熱ドア・断熱サッシ **G**

断熱性の等級（・

・

）

（建具符号：・建具表による

・

）

6. 網戸等

材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・BB-1
・BB-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色
・特注色
屋内の建具
種別
・BC-1
・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色
・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式
・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による

[5. 2. 3、5. 3. 3]

種類	材質	幅径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

7. 樹脂製建具

性能値等
耐風圧性の等級（
）
気密性の等級（
）
水密性の等級（
）
外部に面する建具の種別
種別耐風圧性気密性水密性枠見込み(mm)施工箇所
・A種S-4A-4W-4・※図示による
・B種S-5
・C種S-6
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1
・T-2）
（建具符号：・建具表による
・
）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・H-4
・H-5
・H-6
・H-7
・H-8）
（建具符号：・建具表による
・
）
耐震ドアセット
面内変形追随性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
・
材料
ガラス
※複層ガラス
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面色
・標準色
・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※図示による

[5. 2. 2][5. 3. 2～5]

8. 鋼製建具

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による
・
）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.4.2による
・ mm 使用箇所（
・
）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による
・

[5. 2. 2][5. 4. 2～4][表5.4.2]

9. 鋼製軽量建具

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による
・
）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.5.1による
・ mm 使用箇所（
・
）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による
・

[5. 2. 2][5. 5. 2～4]

10. ステンレス製建具

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による
・
）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上
※HL
・鏡面仕上
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ
建具材の加工、組立時の含水率
※A種
・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
・フラッシュ戸
表面内のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)①(a)による
表面材の合板の種類
合板の種類規格等備考
・普通合板
表面の樹種
・板面の品質（※広葉樹1等
・
）
接着の程度（・1類
・2類）
・天然木化粧合板
樹種名（
）
接着の程度（・1類
・2類）
・特殊加工化粧合板
化粧加工の方法
※プリント
・ポリエステル化粧合板
・メラミン化粧合板
・
接着の程度（・1類
・2類）
・MDF
表面板の厚さ
※改修標準仕様書表5.7.6による
・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない
・適用する
・かまち戸
かまち樹種（
）鏡板樹種（
）
見込み寸法
※36mm
・建具表による

[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2～5]

11. 木製建具

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による
・
）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・
）
（建具符号：・建具表による
・
）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.7.6による
・ mm 使用箇所（
・
）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による
・

[5. 7. 2～4]

12. 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書表5.8.5による
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・
錠前類
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠（品質・性能、試験方法は別表による）
クローザ類（品質・性能、試験方法は別表による）

[5. 8. 1～3]

13. 錠

マスターキー
・製作する
・製作しない
・既存のマスターキーに合わせる
その他の錠の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
錠箱
・無し
・有り

[5. 8. 4]

14. 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式
・建具表による
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による（防錆
・適用する
・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式（
）
耐電圧（
）
温度上昇（
）
耐久性（サイクル）（
）
防錆（
）
電源（
）
・車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆
・適用する
・適用しない）
・以下による
耐電圧（
）
温度上昇（
）
耐久性（サイクル）（
）
防錆（
）
電源（
）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆
・適用する
・適用しない）
・以下による
耐電圧（
）
防錆（
）
防滴（
）
電源（
）
引き戸用検出装置の種類及び必要性性能項目
・建具表による
・
タッチスイッチの種類
による名称
・無線式タッチスイッチ
・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便所スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う
・行わない

[5. 9. 2、3]

15. 自閉式上り引戸装置

性能値等
※改修標準仕様書表5.10.1
・以下による
手動開き力（
）
手動閉じ力（
）
閉じ速度の調整（
）
制動区間（
）
開閉繰返し（
）
耐衝撃性（
）

[5. 10. 3]

16. 重量シャッター

シャッターの種類
（[5. 11. 2、3]）
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（
）Pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）
・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所
・建具表による
・
）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所
・建具表による
・
）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所
・建具表による
・
）
管理用シャッターのシャッターケース
・設ける
・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、ぐまぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチ
ボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

[5. 11. 2、3]

17. 軽量シャッター

開閉方式の種類
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度（
）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所
・建具表による
・
）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06
・
）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム―亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90
・
）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

[5. 12. 2～4]

18. オーバーヘッドドア

セクション材料による区分風圧力による区分開閉方式による区分収納形式による区分ガイドレールの材料
※スチールタイプ・50
※アルミニウムタイプ・75
※ファイバーグラスタイプ・100・125※バランス式・スタンダード形
・チェーン式・ローヘッド形
・電動式・ハイリフト形
・バーチカル形
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所
・建具表による
・
）
適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組み合わせは
建具表及び図面による
・フロート板ガラス
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類※建具表による
・型板ガラス
型板ガラスの厚さによる種類※建具表による
・網入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類※建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ※建具表による
形状による種類・平面合わせガラス・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類・Ⅰ類・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類・Ⅲ類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称※建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類・Ⅰ類・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスの種類及び厚さによる種類※建具表による
性能による種類・1種・2種
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ※建具表による
断熱性による区分・T1・T2・T3・T4・T5・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分・G・S
乾燥気体の種類・空気・アルゴン

[5. 13. 2、3]

19. ガラス

適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組み合わせは
建具表及び図面による
・フロート板ガラス
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類※建具表による
・型板ガラス
型板ガラスの厚さによる種類※建具表による
・網入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類※建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ※建具表による
形状による種類・平面合わせガラス・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類・Ⅰ類・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類・Ⅲ類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称※建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類・Ⅰ類・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスの種類及び厚さによる種類※建具表による
性能による種類・1種・2種
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ※建具表による
断熱性による区分・T1・T2・T3・T4・T5・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分・G・S
乾燥気体の種類・空気・アルゴン

[3. 7][5. 14. 2～4]

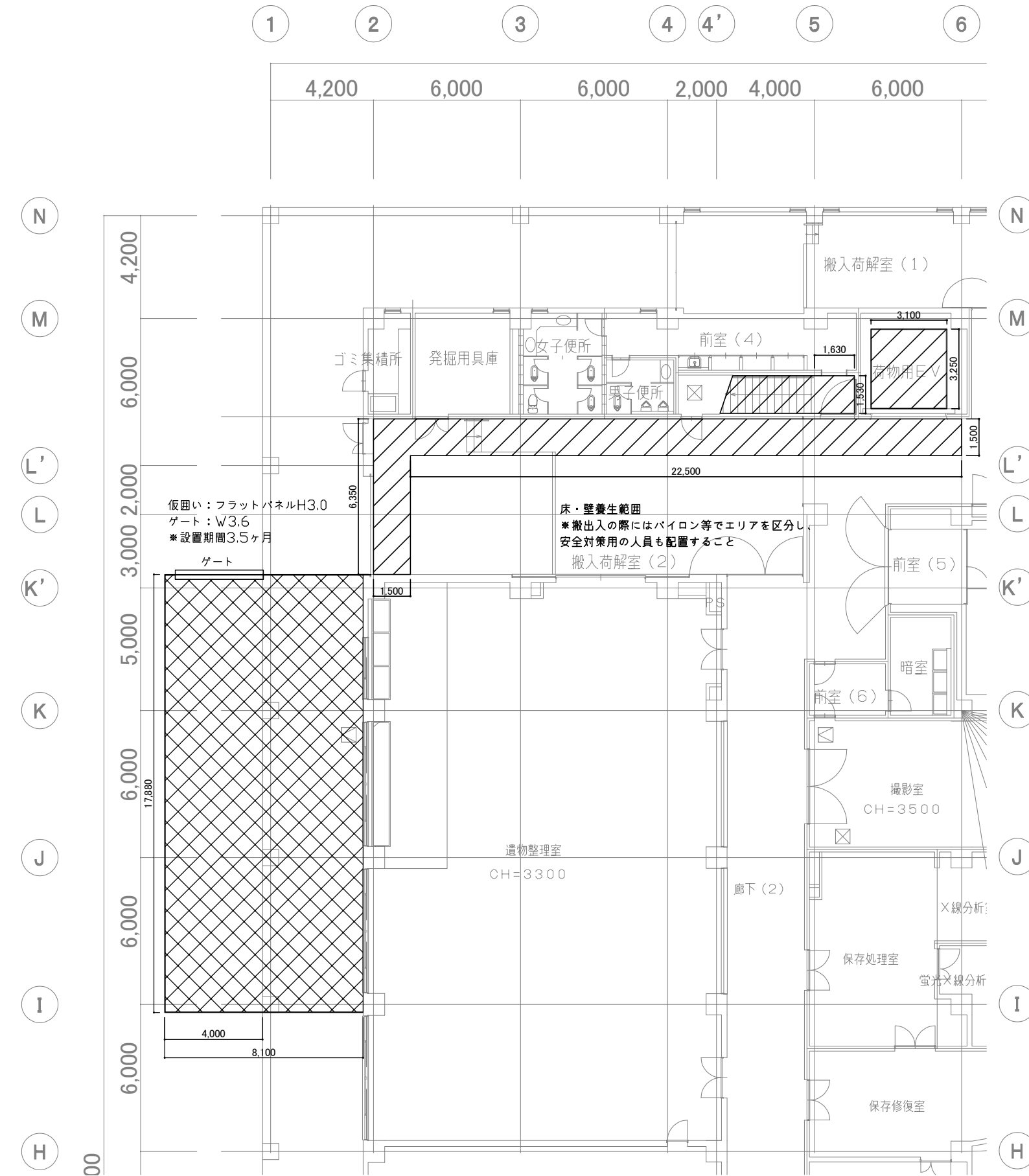
20. ガラスブロック	・熱線反射ガラス	材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による	
	日射熱遮へい性による区分	・1種	・2種	・3種
	耐久性による区分 (日射熱遮へい性が2種の場合)	・A種	・B種	
	・倍強度ガラス			
	材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による		・図示
	ガラスの留め材及び溝の大きさ	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
	アルミニウム製	・シーリング材	・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による
	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
	ステンレス製	・シーリング材	・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
	樹脂製	・グレイジングチャンネル	・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
	曲面様みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ※図示による カ骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・ 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状補筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示による 形状 ※図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による ・			
21. ガラス用フィルム		種類	記号	その他性能等
		・日射調整フィルム	内貼り用 ・SC-1	外貼り用 ・SC-2
		・低放射フィルム	・LE	
		・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2
		・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1
		・ガラス貫通防止フィルム	・SF	
		品質は、JIS A 5759による。		

6 内装改修工事	1. 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による	2. 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ (接着剤とも) ・下地モルタルとも (・図示による ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章 外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※室内の改修箇所

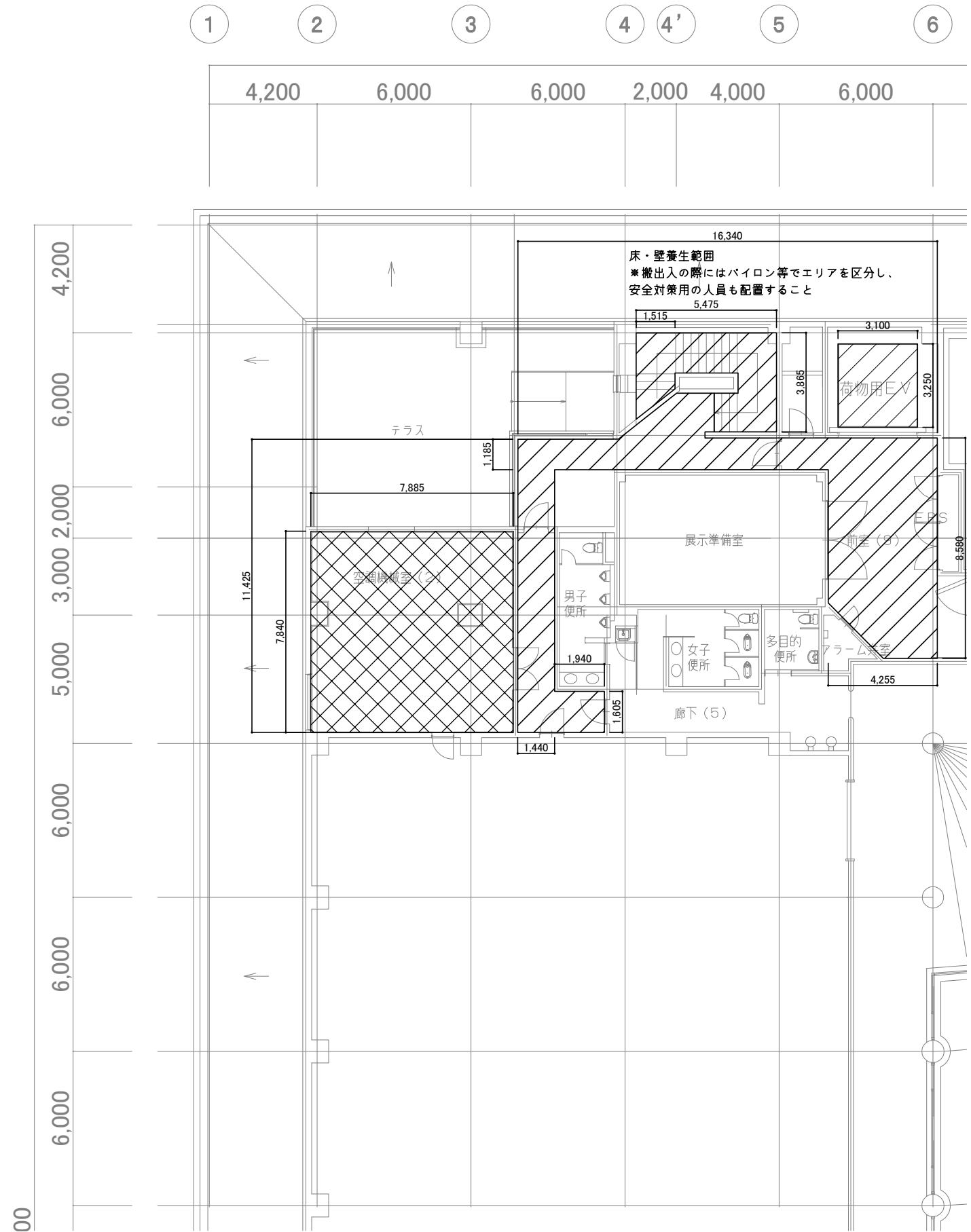
3. 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による) ・						
4. 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (g) (b)による ・						
5. 製材	信州産材の利用 ・利用する (信州木材認証製品又は同等品) ・利用しない ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材						
	施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用						
				※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
				※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
				※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・

16. ビニル床シート	[6. 8. 2.、3]				
	種類	施工箇所	色柄	厚さ (mm)	備考
	※FS (複層ビニル床シート)		・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0	
17. ビニル床タイル	[6. 8. 2]				
	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
	※KT (コンボリューションビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0	
18. 特殊機能床材	[6. 8. 2]				
	・帯電防止床シート				
	・帯電防止床タイル				
19. ビニル幅木	[6. 8. 2]				
	材質の種類				
	・軟質 ・硬質				
20. ゴム床タイル	[6. 8. 2]				
	種類				
	・単層品 ・積層品				
21. カーペット敷き	[6. 9. 2、3] [表6. 9. 1]				
	織り方				
	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット				
22. 合成樹脂塗床	[6. 10. 2、3]				
	種類				
	・厚膜型塗床材 ・弾性外付樹脂系塗床				
23. フローリング張り	[6. 11. 2～6]				
	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	
	・厚膜型塗床材 ・弾性外付樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	
24. 畳敷き	[6. 12. 2]				
	種類				
	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床：・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)				
25. セッコウボードその他のボード張り	[6. 13. 2、3]				
	種類				
	・硬質 (HR) ・中質 (MR) ・普通 (NR)				
26. 壁紙張り	[6. 14. 2、3]				
	種類				
	・硬質 (HR) ・中質 (MR) ・普通 (NR)				
27. モルタル塗り	[6. 15. 3、5、6]				
	種類				
	・硬質 (HR) ・中質 (MR) ・普通 (NR)				
28. タイル張り	[6. 16. 2～4]				
	種類				
	・硬質 (HR) ・中質 (MR) ・普通 (NR)				
29. ゼルフレベリング材塗り	[6. 17. 2、3]				
	種類				
	・硬質 (HR) ・中質 (MR) ・普通 (NR)				

7 塗装 改修工事	1. 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井 仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）	[7. 1. 3]
	2. 下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示による ・ 既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ・行う（ 箇所） ○行わない 下地調整	[7. 2. 1～7]
	3. 素地ごしらえ		[7. 3. 2～7]
	4. 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別	[7. 4. 2、3]
	5. 塗装		[7. 5. 2～7. 12. 2]
8	・耐震改修工事		
	9 環境 配慮 改修工事	1. 石綿含有建材の除去工事	[9. 1. 1、3～6]
2 PCB含有 シーリング材 処分			
3 外断熱改修工事			
4 断熱・防露改修工事			
5 屋上緑化改修工事			
6 透水性アスファルト 舗装改修工事			



- ※重量物の搬入のため、25セラフターを2日見込むこと
- ※搬入車両のため、交通誘導員を5日※2人見込むこと
- ※キュービカル改修で1時間以上の停電工事となる場合は45kVAの仮設発電機等により木器処理機器のバックアップを行うこと



壁・床養生範囲を示す

工事エリアを示す

長野県立歴史館	訂正	-	KUMESKKEI 株式会社 久米設計	日付	2026.03			件名	長野県立歴史館企画展示室空調設備改修工事	プロジェクト番号 7240397
		-		PA	桐 賢史 横岡 山田 大祐					
		-		担当	藤木 真二郎、阿部 功					
		-			本田 冬生					
		-								
				図面名		縮尺		図面番号		
				仮設計画図		A1 1:100 A3 1:200		A-002		

